



後口谷畜産団地 拡大図



S=1:1000

地籍図



No.	対象施設	調査箇所	検体数	備考
①	事務所棟	外壁	1	
		内壁	1	
②	厩舎	壁	1	
		天井	1	高さ2m程度
③	焼却炉	残渣	1	ダイオキシン類

confidential

試験結果報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



株式会社 日本総合科学

広島県福山市箕島町南丘399番地46
電話 (084) 981-0181 (代表)計量証明事業所 広島県登録第K-61号
作業環境測定機関 広島県登録第34-25

採取日時	平成29年2月10日	報告書番号	16HZ404942R
	10時55分	受付日	平成29年2月10日
試料名	壁材	採取者名	高松和広
採取場所	後口谷畜産団地 事務所棟 外壁	その他	——
試験実施期間	平成29年2月11日 ~ 平成29年3月3日		

上記試料についての試験結果を次のとおり報告します。

試験対象	試験結果	試験方法
アスベスト	9.0 % (クリソタイル 2.7%) (アモサイト 6.3%) (クロシドライト 含有せず) (トリモライト/アクチノライト 含有せず) (アンソフィライト 含有せず)	建材製品中のアスベスト含有率測定方法 (JIS A 1481_2:2016 及びJIS A 1481_3:2014)
備考	業務名:後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務	

試料の前処理

一次分析試料の加熱処理を実施した減量率(r)	—
------------------------	---

備考 1. 欄の「—」は、一次分析試料の加熱処理を実施していないことを表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法)

アスベスト 種類	屈折率 ($n_D^{25^\circ C}$)	分散色	繊維状粒子数 / 1000粒子			アスベスト種類 有無の判定
			標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	1.550	赤紫～青	3	4	5	有
アモサイト	1.680	桃	22	18	17	有
クロシドライト	1.690	桃	0	0	0	無
トレモライト/アクチノライト	1.620	赤紫	0	0	0	無
アンソフィライト	1.618	赤紫	0	0	0	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、三つの標本で計数した合計3000粒子中、4繊維状粒子以上のアスベストが確認されたことを表す。

X線回折定性分析

アスベスト 種類	回折ピークの有無			アスベスト種類 有無の判定
	標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	有	有	有	有
アモサイト	有	有	有	有
クロシドライト	無	無	無	無
トレモライト/アクチノライト	無	無	無	無
アンソフィライト	無	無	無	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、標本一つ以上にアスベストの回折ピークが確認されたことを表す。

定性分析によるアスベスト有無の総合判定

アスベスト 種類	顕微鏡による 判定	X線回折による 判定	顕微鏡再分析による 判定	アスベスト種類 有無の判定
クリソタイル	有	有	—	含有
アモサイト	有	有	—	含有
クロシドライト	無	無	—	含有せず
トレモライト/アクチノライト	無	無	—	含有せず
アンソフィライト	無	無	—	含有せず

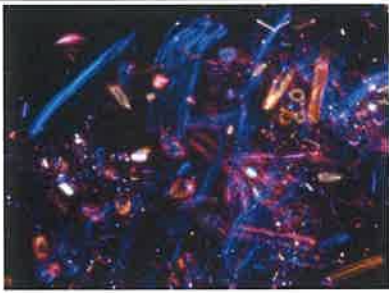

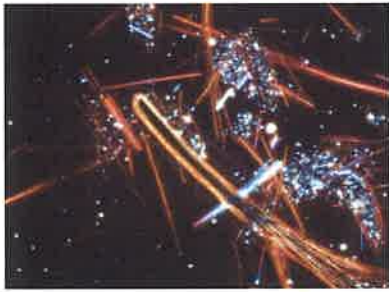
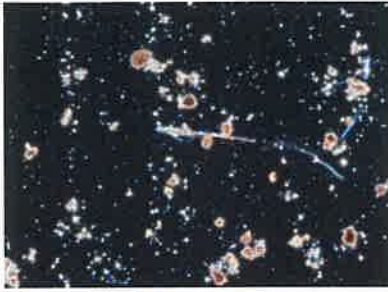

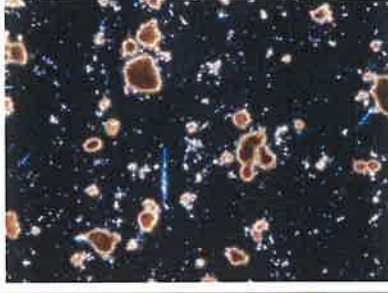

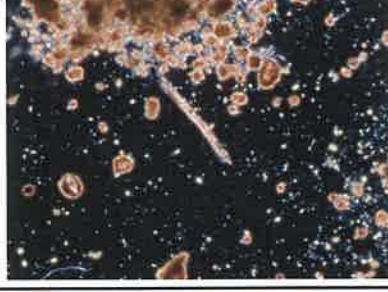


備考 1. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 2. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有」と判定する。
 3. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、顕微鏡による定性分析方法によって再度分析を行う。
 再分析の結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定し、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 4. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定する。

X線回折定量分析

アスベスト 種類	含有率(%)				試料の 残渣率	アスベストの 含有率(%)
	標本 1	標本 2	標本 3	平均		
クリソタイル	2.79	2.41	2.87	2.7	0.56	9.0
アモサイト	7.04	5.27	6.66	6.3		
クロシドライト	—	—	—	—		
トレモライト/アクチノライト	—	—	—	—		
アンソフィライト	—	—	—	—		

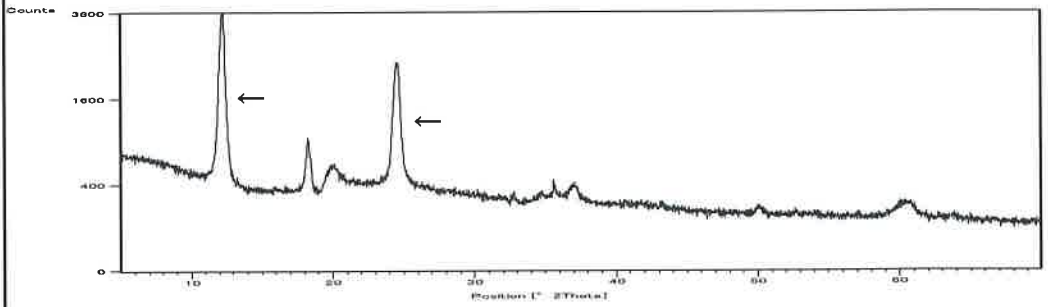
備考 1. 各項目欄の「—」は、定量分析を実施していないことを表す。
 2. 試料の残渣率は、二次分析試料における残渣率である。
 3. 一次分析試料の加熱処理を実施した場合は、減量率(r)で補正した定量値を表す。
 4. 含有率は、残渣率が0.15以下の場合は二次分析試料での定量値を、残渣率が0.15を超える場合は三次分析試料での定量値を表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法) 顕微鏡写真: ニコン顕微鏡 ECLIPSE 80i

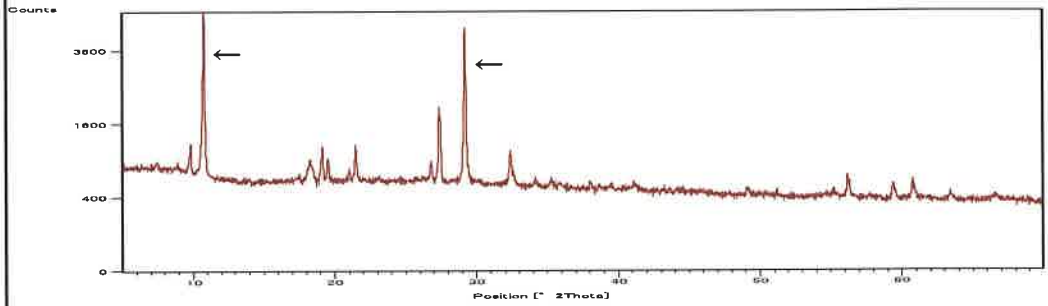
アスベスト	屈折率 (分散色)	スタンダード	倍率(100倍)	試料	倍率(100倍)
クリソタイル (白石綿)	1.550 (赤紫~青)				
アモサイト (茶石綿)	1.680 (桃)				
クロシドライト	1.690 (桃)				
アンソフィライト	1.618 (赤紫)				
トレモライト/ア クチノライト	1.620 (赤紫)				

X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

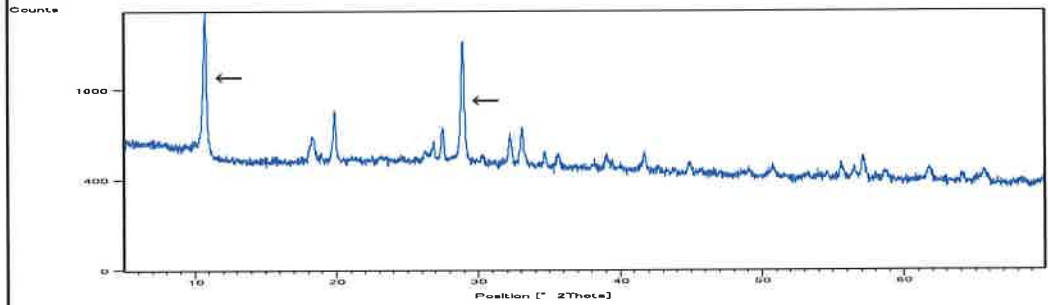
スタンダード
(クリソタイル)



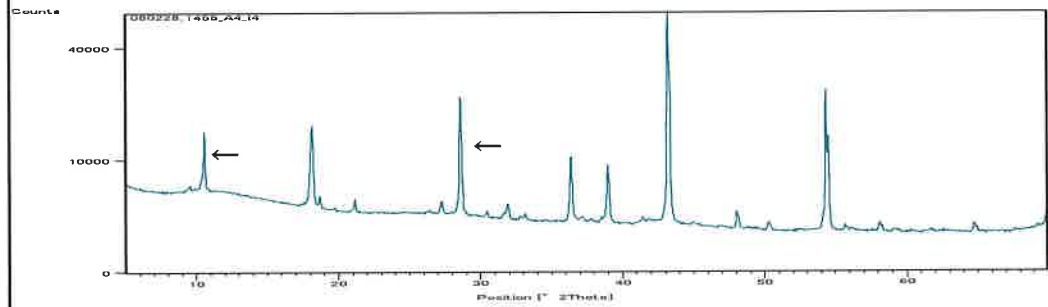
(アモサイト)



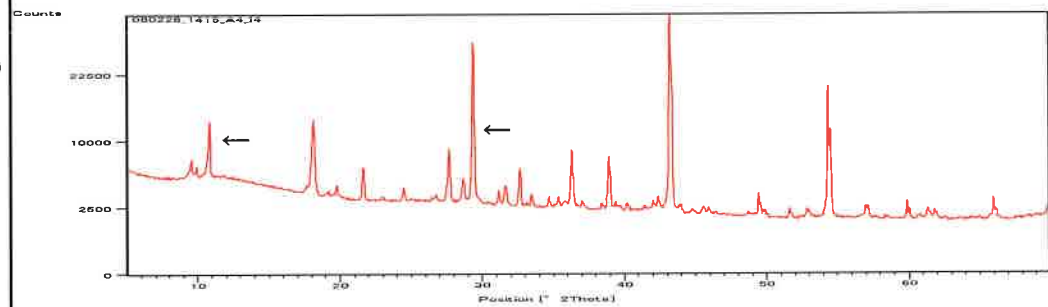
(クロシドライト)



(トレモライト/
アクチノライト)

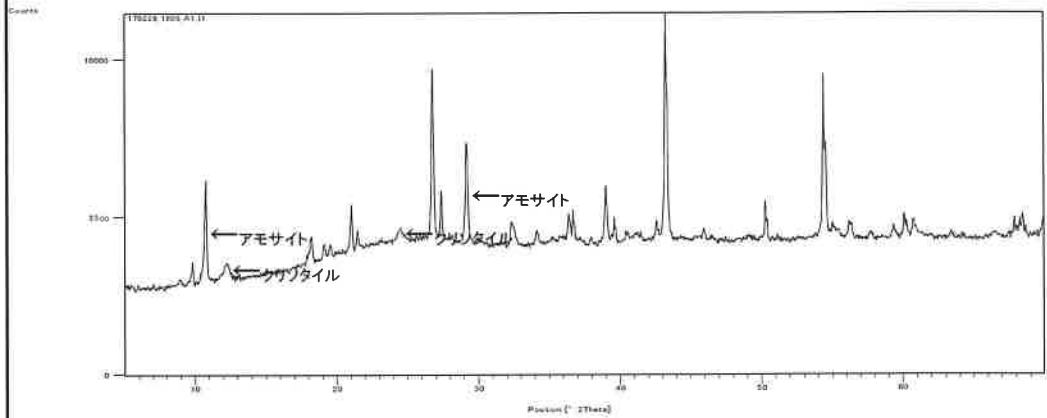


(アンソフィライト)

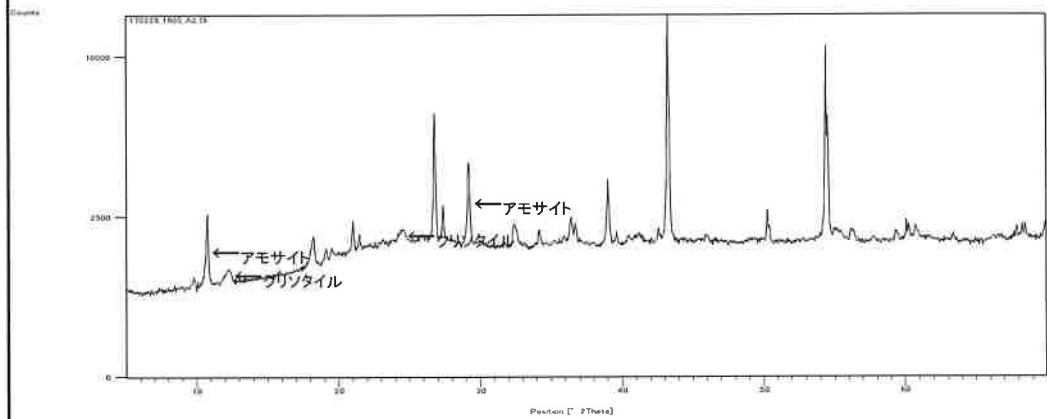


X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

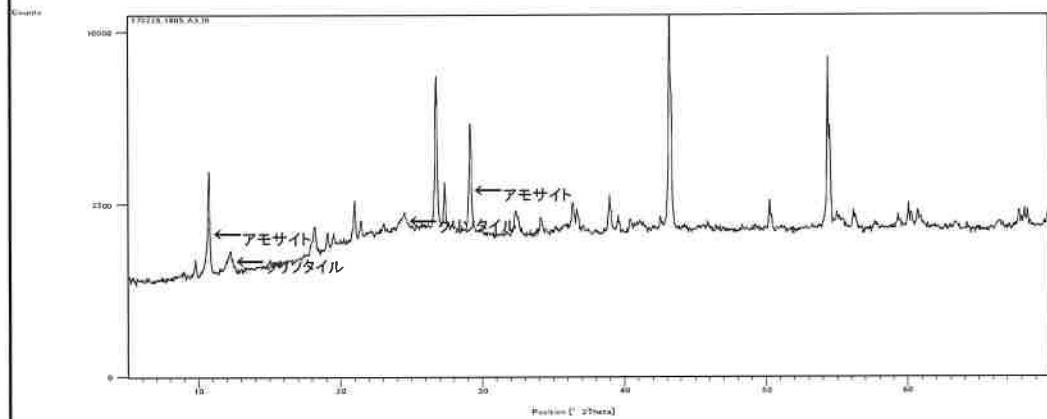
試料
(標本 1)



(標本 2)



(標本 3)





試料採取状況(遠景)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 外壁

採取日

平成29年2月10日



試料採取状況(近景)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 外壁

採取日

平成29年2月10日



試料(検体)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 外壁

採取日

平成29年2月10日

試験結果報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



株式会社 **日本総合科学**

広島県福山市箕島町南丘399番地46
電話 (084) 981-0181 (代表)

計量証明事業所 広島県登録第K-61号
作業環境測定機関 広島県登録第34-25

採取日時	平成29年2月10日	報告書番号	16HZ404943R
	11時00分	受付日	平成29年2月10日
試料名	壁材	採取者名	高松和広
採取場所	後口谷畜産団地 事務所棟 内壁	その他	——
試験実施期間	平成29年2月11日 ~ 平成29年3月3日		

上記試料についての試験結果を次のとおり報告します。

試験対象	試験結果	試験方法
アスベスト	8.2 % (クリソタイル 1.7%) (アモサイト 6.5%) (クロシドライト 含有せず) (トモライト/アクチノライト 含有せず) (アンソフィライト 含有せず)	建材製品中のアスベスト含有率測定方法 (JIS A 1481_2:2016 及びJIS A 1481_3:2014)
備考	業務名:後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務	

試料の前処理

一次分析試料の加熱処理を実施した減量率(r)	—
------------------------	---

備考 1. 欄の「—」は、一次分析試料の加熱処理を実施していないことを表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法)

アスベスト 種類	屈折率 ($n_D^{25^\circ C}$)	分散色	繊維状粒子数 / 1000粒子			アスベスト種類 有無の判定
			標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	1.550	赤紫～青	4	5	3	有
アモサイト	1.680	桃	16	15	27	有
クロシドライト	1.690	桃	0	0	0	無
トレモライト/アクチノライト	1.620	赤紫	0	0	0	無
アンソフィライト	1.618	赤紫	0	0	0	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、三つの標本で計数した合計3000粒子中、4繊維状粒子以上のアスベストが確認されたことを表す。

X線回折定性分析

アスベスト 種類	回折ピークの有無			アスベスト種類 有無の判定
	標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	有	有	有	有
アモサイト	有	有	有	有
クロシドライト	無	無	無	無
トレモライト/アクチノライト	無	無	無	無
アンソフィライト	無	無	無	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、標本一つ以上にアスベストの回折ピークが確認されたことを表す。

定性分析によるアスベスト有無の総合判定

アスベスト 種類	顕微鏡による 判定	X線回折による 判定	顕微鏡再分析による 判定	アスベスト種類 有無の判定
クリソタイル	有	有	—	含有
アモサイト	有	有	—	含有
クロシドライト	無	無	—	含有せず
トレモライト/アクチノライト	無	無	—	含有せず
アンソフィライト	無	無	—	含有せず

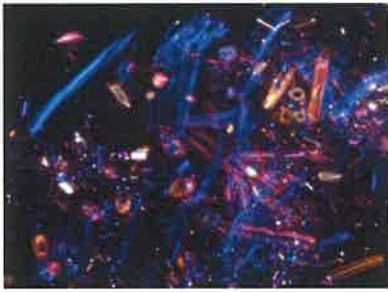
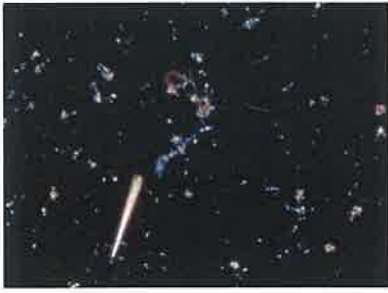







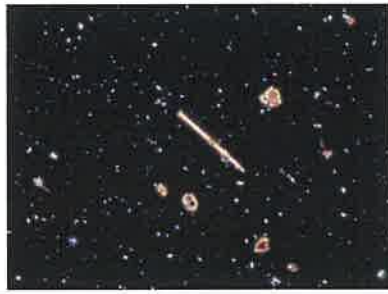
備考 1. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 2. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有」と判定する。
 3. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、顕微鏡による定性分析方法によって再度分析を行う。
 再分析の結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定し、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 4. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定する。

X線回折定量分析

アスベスト 種類	含有率(%)				試料の 残渣率	アスベストの 含有率(%)
	標本 1	標本 2	標本 3	平均		
クリソタイル	1.55	1.93	1.53	1.7	0.46	8.2
アモサイト	5.35	7.34	6.70	6.5		
クロシドライト	—	—	—	—		
トレモライト/アクチノライト	—	—	—	—		
アンソフィライト	—	—	—	—		

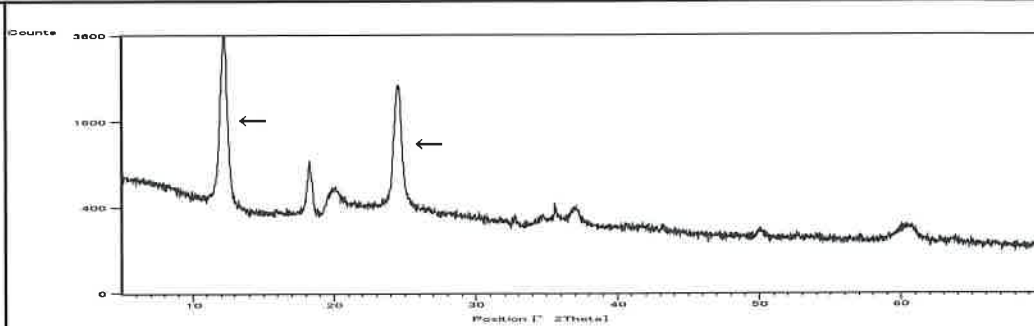
備考 1. 各項目欄の「—」は、定量分析を実施していないことを表す。
 2. 試料の残渣率は、二次分析試料における残渣率である。
 3. 一次分析試料の加熱処理を実施した場合は、減量率(r)で補正した定量値を表す。
 4. 含有率は、残渣率が0.15以下の場合は二次分析試料での定量値を、残渣率が0.15を超える場合は三次分析試料での定量値を表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法) 顕微鏡写真: ニコン顕微鏡 ECLIPSE 80i

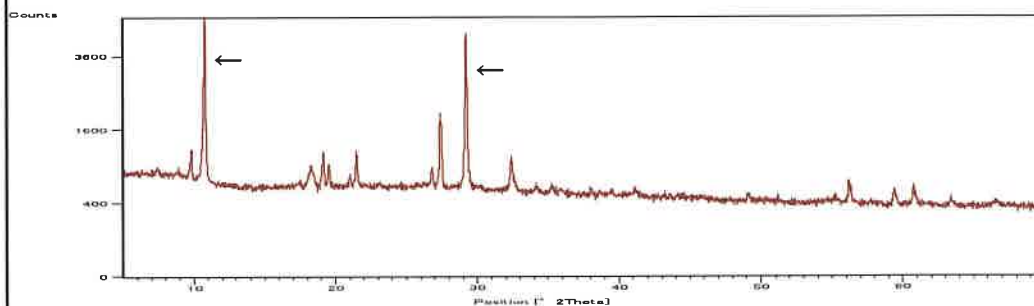
アスベスト	屈折率 (分散色)	スタンダード	倍率(100倍)	試料	倍率(100倍)
クリソタイル (白石綿)	1.550 (赤紫~青)				
アモサイト (茶石綿)	1.680 (桃)				
クロシドライト	1.690 (桃)				
アンソフィライト	1.618 (赤紫)				
トレモライト/ア クチノライト	1.620 (赤紫)				

X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

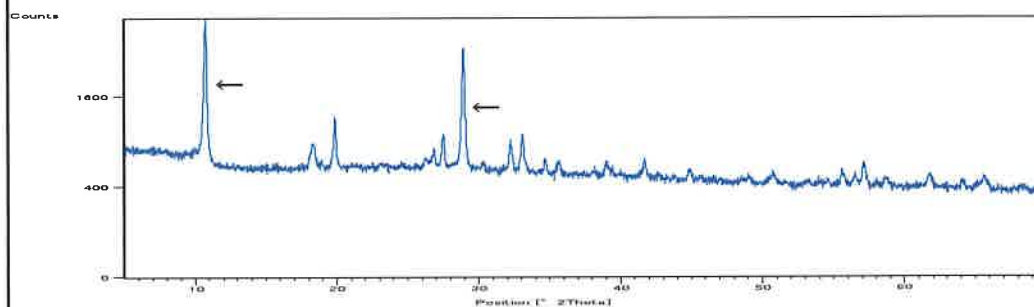
スタンダード
(クリソタイル)



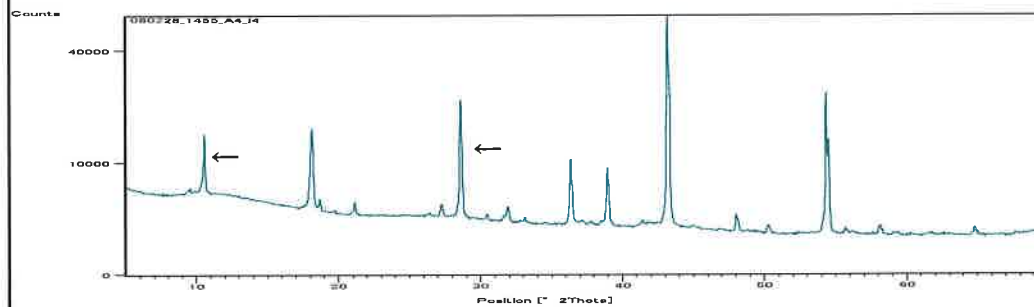
(アモサイト)



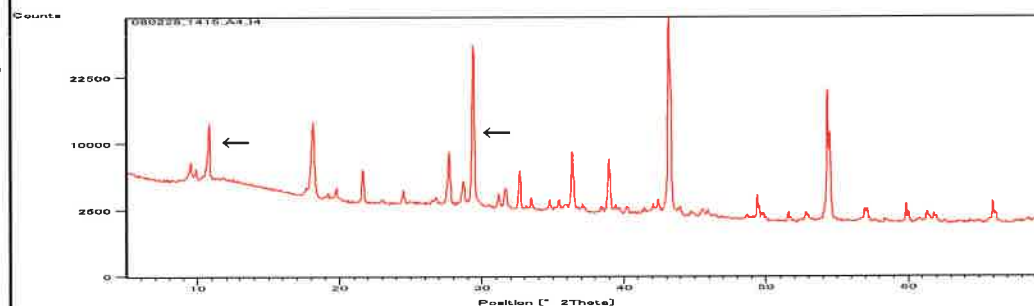
(クロソドライト)



(トレモライト/
アクチノライト)

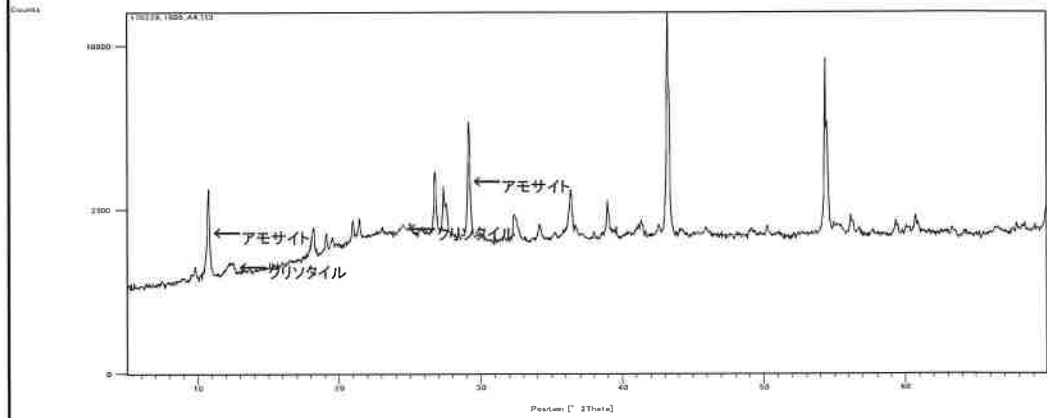


(アンソフィライト)

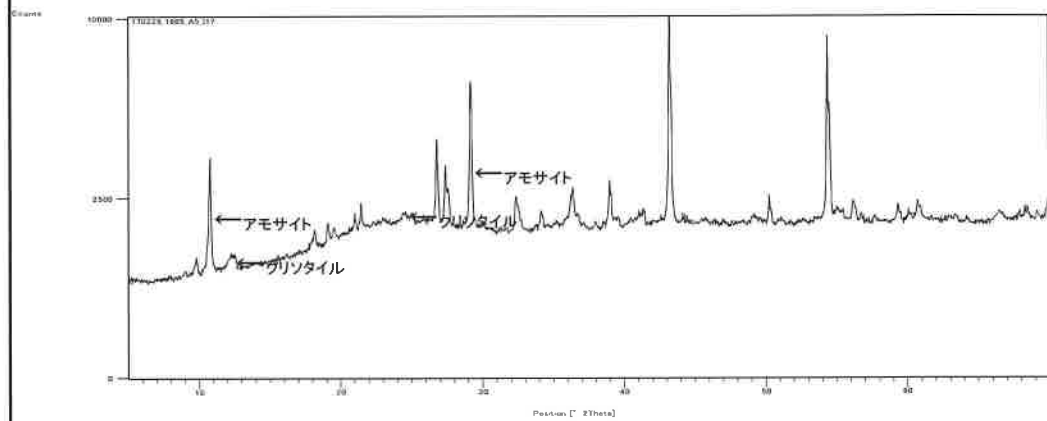


X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

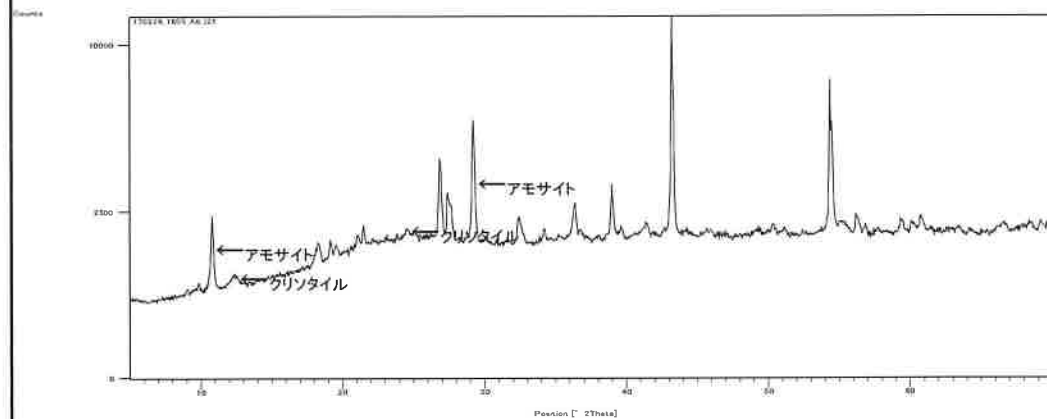
試料
(標本 1)



(標本 2)



(標本 3)





試料採取状況(遠景)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 内壁

採取日

平成29年2月10日



試料採取状況(近景)

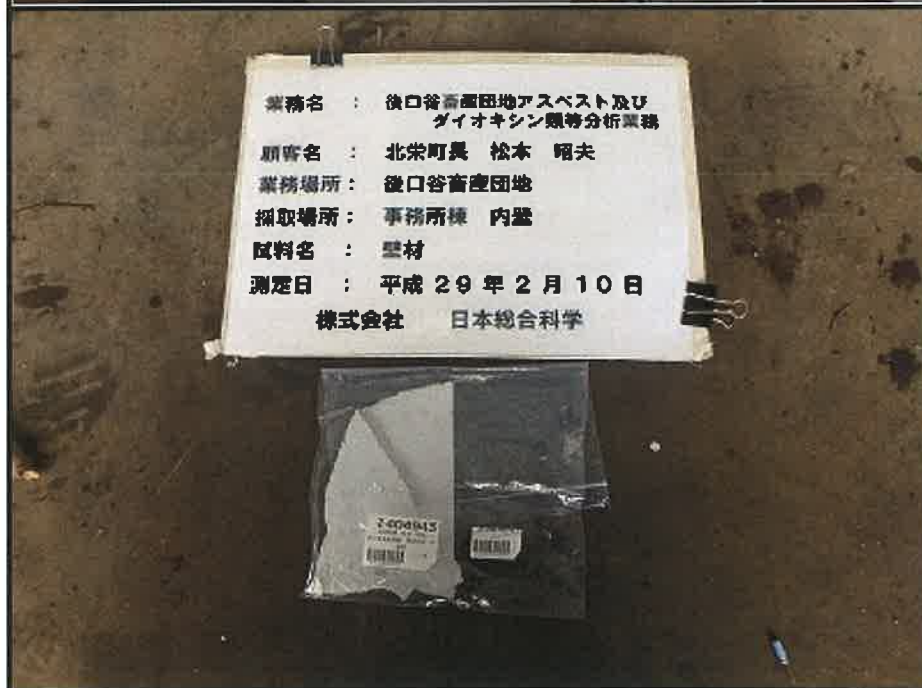
試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 内壁

採取日

平成29年2月10日



試料(検体)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
事務所棟 内壁

採取日

平成29年2月10日

試験結果報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



株式会社 日本総合科学

広島県福山市箕島町南丘399番地46

電話 (084) 981-0181 (代表)

計量証明事業所 広島県登録第K-61号

作業環境測定機関 広島県登録第34-25

採取日時	平成29年2月10日	報告書番号	16HZ404944R
	11時12分	受付日	平成29年2月10日
試料名	壁材	採取者名	高松 和広
採取場所	後口谷畜産団地 厩舎 壁	その他	——
試験実施期間	平成29年2月11日 ~ 平成29年3月3日		

上記試料についての試験結果を次のとおり報告します。

試験対象	試験結果	試験方法
アスベスト	11.2 % (クリソタイル 2.0%) (アモサイト 9.2%) (クロシドライト 含有せず) (トリモライト/アクチノライト 含有せず) (アンソフィライト 含有せず)	建材製品中のアスベスト含有率測定方法 (JIS A 1481_2:2016 及びJIS A 1481_3:2014)
備考	業務名:後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務	

試料の前処理

一次分析試料の加熱処理を実施した減量率(r)	—
------------------------	---

備考 1. 欄の「—」は、一次分析試料の加熱処理を実施していないことを表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法)

アスベスト 種類	屈折率 ($n_D^{25^\circ C}$)	分散色	繊維状粒子数 / 1000粒子			アスベスト種類 有無の判定
			標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	1.550	赤紫～青	3	3	3	有
アモサイト	1.680	桃	28	26	32	有
クロシドライト	1.690	桃	0	0	0	無
トリモライト/アクチノライト	1.620	赤紫	0	0	0	無
アンソフィライト	1.618	赤紫	0	0	0	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、三つの標本で計数した合計3000粒子中、4繊維状粒子以上のアスベストが確認されたことを表す。

X線回折定性分析

アスベスト 種類	回折ピークの有無			アスベスト種類 有無の判定
	標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	有	有	有	有
アモサイト	有	有	有	有
クロシドライト	無	無	無	無
トリモライト/アクチノライト	無	無	無	無
アンソフィライト	無	無	無	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、標本一つ以上にアスベストの回折ピークが確認されたことを表す。

定性分析によるアスベスト有無の総合判定

アスベスト 種類	顕微鏡による 判定	X線回折による 判定	顕微鏡再分析による 判定	アスベスト種類 有無の判定
クリソタイル	有	有	—	含有
アモサイト	有	有	—	含有
クロシドライト	無	無	—	含有せず
トリモライト/アクチノライト	無	無	—	含有せず
アンソフィライト	無	無	—	含有せず

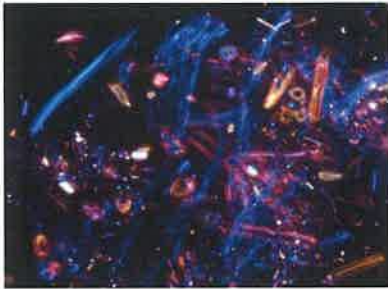

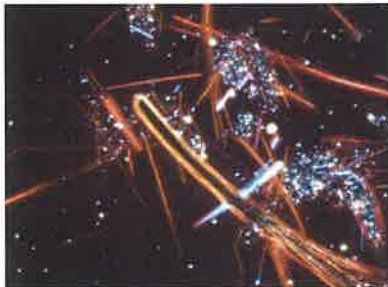


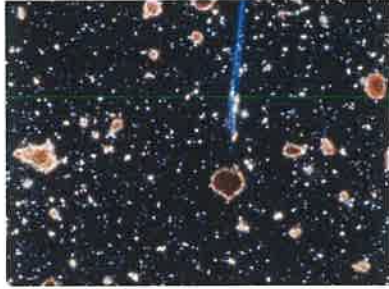
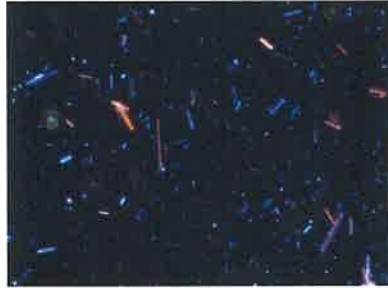



備考 1. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 2. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有」と判定する。
 3. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、顕微鏡による定性分析方法によって再度分析を行う。
 再分析の結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定し、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 4. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定する。

X線回折定量分析

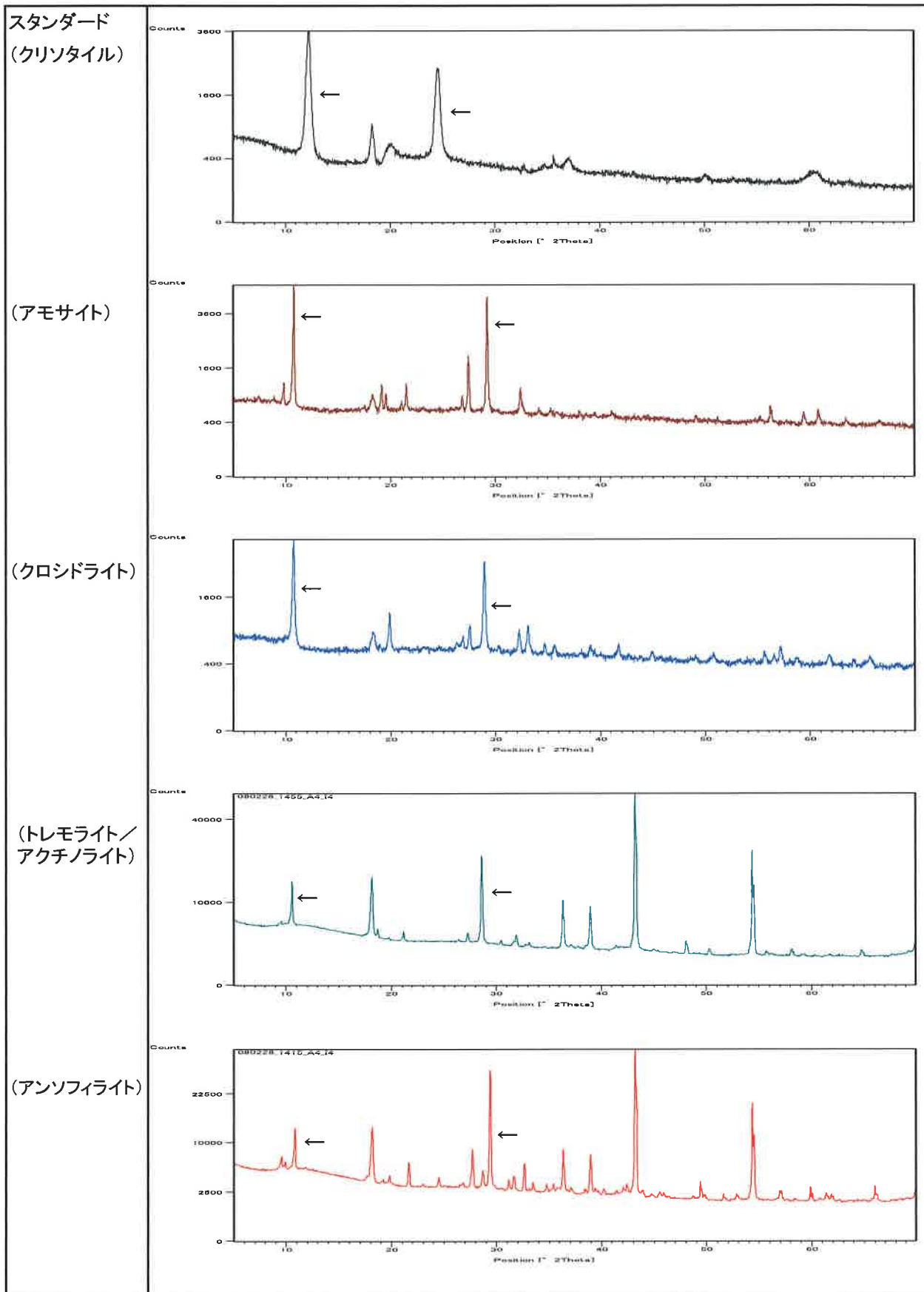
アスベスト 種類	含有率(%)				試料の 残渣率	アスベストの 含有率(%)
	標本 1	標本 2	標本 3	平均		
クリソタイル	2.09	1.83	1.96	2.0	0.44	11.2
アモサイト	9.94	9.13	8.38	9.2		
クロシドライト	—	—	—	—		
トリモライト/アクチノライト	—	—	—	—		
アンソフィライト	—	—	—	—		

備考 1. 各項目欄の「—」は、定量分析を実施していないことを表す。
 2. 試料の残渣率は、二次分析試料における残渣率である。
 3. 一次分析試料の加熱処理を実施した場合は、減量率(r)で補正した定量値を表す。
 4. 含有率は、残渣率が0.15以下の場合には二次分析試料での定量値を、残渣率が0.15を超える場合には三次分析試料での定量値を表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法) 顕微鏡写真: ニコン顕微鏡 ECLIPSE 80i

アスベスト	屈折率 (分散色)	スタンダード	倍率(100倍)	試料	倍率(100倍)
クリソタイル (白石綿)	1.550 (赤紫~青)				
アモサイト (茶石綿)	1.680 (桃)				
クロシドライト	1.690 (桃)				
アンソフィライト	1.618 (赤紫)				
トレモライト/ア クチノライト	1.620 (赤紫)				

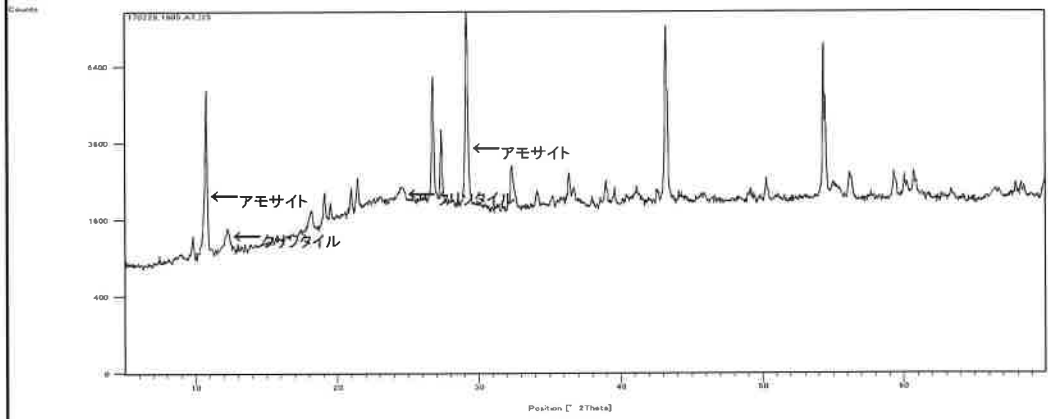
X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD



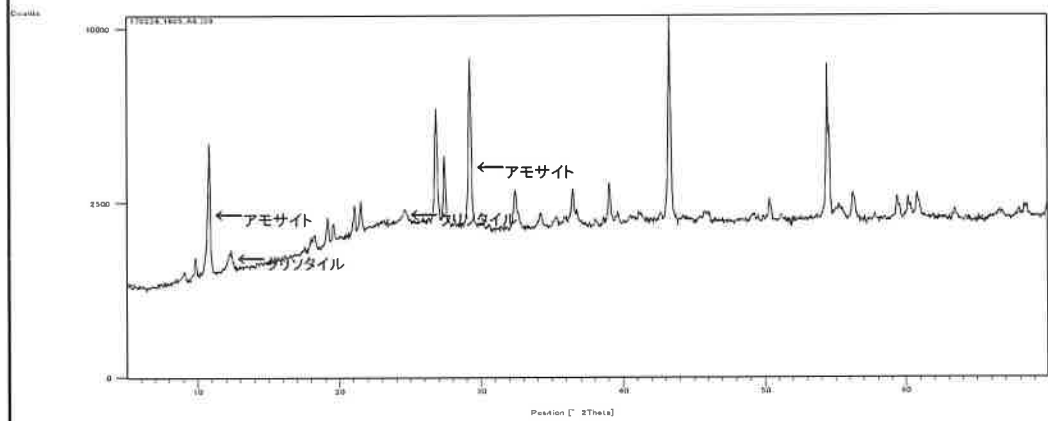
X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

試料

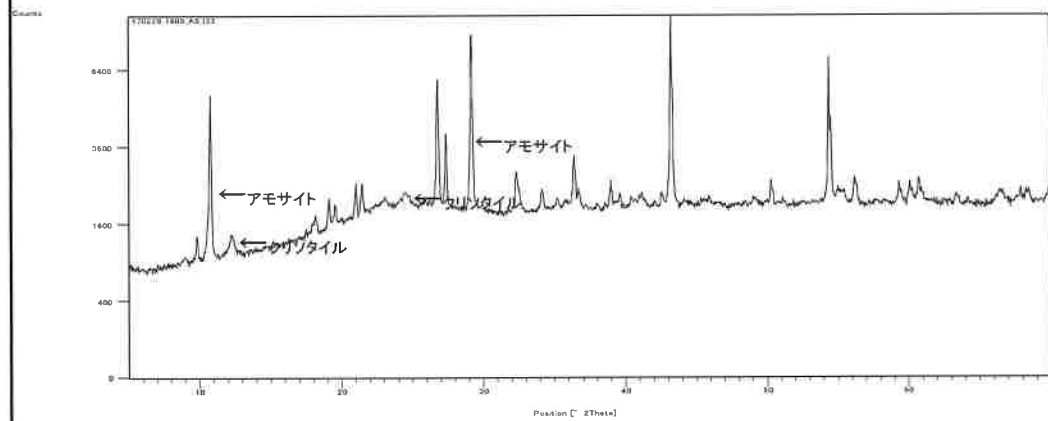
(標本 1)



(標本 2)



(標本 3)





試料採取状況(遠景)

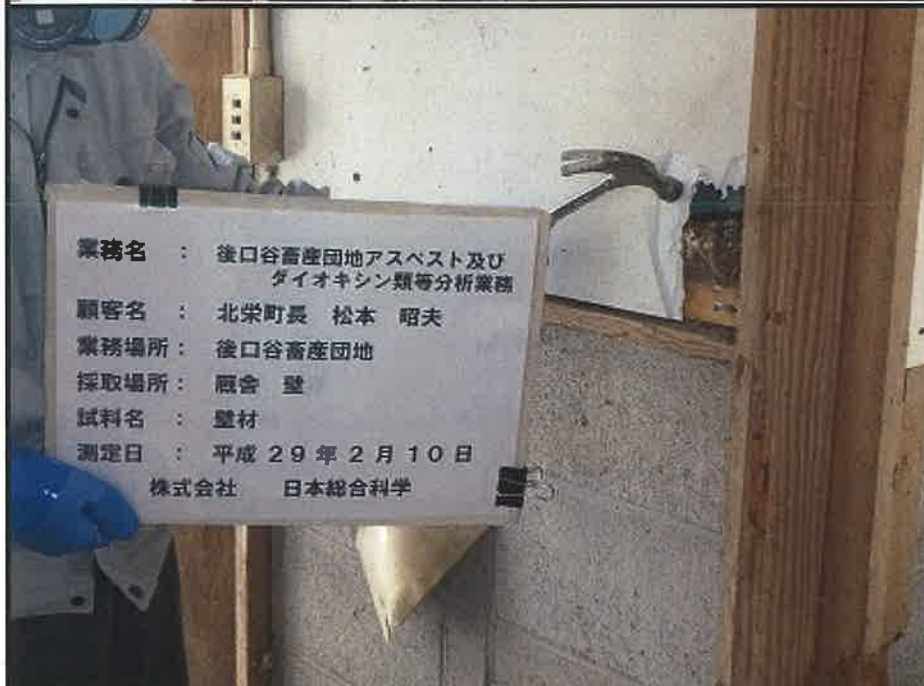
試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 壁

採取日

平成29年2月10日



試料採取状況(近景)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 壁

採取日

平成29年2月10日



試料(検体)

試料名
壁材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 壁

採取日

平成29年2月10日

試験結果報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



広島県福山市箕島町南丘399番地46

電話 (084) 981-0181 (代表)

計量証明事業所 広島県登録第K-61号

作業環境測定機関 広島県登録第34-25

採取日時	平成29年2月10日	報告書番号	16HZ404945R
	11時10分	受付日	平成29年2月10日
試料名	天井材	採取者名	高松 和広
採取場所	後口谷畜産団地 厩舎 天井	その他	——
試験実施期間	平成29年2月11日 ~ 平成29年3月3日		

上記試料についての試験結果を次のとおり報告します。

試験対象	試験結果	試験方法
アスベスト	12.6 % (クリソタイル 2.4%) (アモサイト 10.2%) (クロシドライト 含有せず) (トリモライト/アクチノライト 含有せず) (アンソフィライト 含有せず)	建材製品中のアスベスト含有率測定方法 (JIS A 1481.2:2016 及びJIS A 1481.3:2014)
備考	業務名:後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務	

試料の前処理

一次分析試料の加熱処理を実施した減量率(r)	—
------------------------	---

備考 1. 欄の「—」は、一次分析試料の加熱処理を実施していないことを表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法)

アスベスト種類	屈折率 ($n_D^{25^\circ C}$)	分散色	繊維状粒子数 / 1000粒子			アスベスト種類 有無の判定
			標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	1.550	赤紫～青	5	4	2	有
アモサイト	1.680	桃	31	38	19	有
クロシドライト	1.690	桃	0	0	0	無
トレモライト/アクチノライト	1.620	赤紫	0	0	0	無
アンソフィライト	1.618	赤紫	0	0	0	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、三つの標本で計数した合計3000粒子中、4繊維状粒子以上のアスベストが確認されたことを表す。

X線回折定性分析

アスベスト種類	回折ピークの有無			アスベスト種類 有無の判定
	標本 1	標本 2	標本 3	
クリソタイル	有	有	有	有
アモサイト	有	有	有	有
クロシドライト	無	無	無	無
トレモライト/アクチノライト	無	無	無	無
アンソフィライト	無	無	無	無

備考 1. アスベスト有無の判定の欄の「有」は、標本一つ以上にアスベストの回折ピークが確認されたことを表す。

定性分析によるアスベスト有無の総合判定

アスベスト種類	顕微鏡による 判定	X線回折による 判定	顕微鏡再分析による 判定	アスベスト種類 有無の判定
クリソタイル	有	有	—	含有
アモサイト	有	有	—	含有
クロシドライト	無	無	—	含有せず
トレモライト/アクチノライト	無	無	—	含有せず
アンソフィライト	無	無	—	含有せず

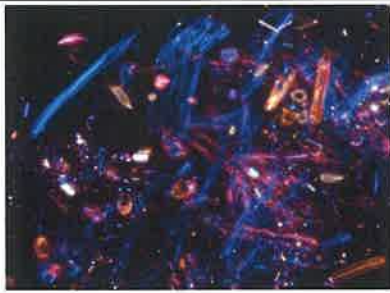









備考 1. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 2. 顕微鏡による結果、「有」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有」と判定する。
 3. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「有」の場合は、顕微鏡による定性分析方法によって再度分析を行う。
 再分析の結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定し、「有」の場合は、「含有」と判定する。
 4. 顕微鏡による結果、「無」で、かつ、X線回折による結果、「無」の場合は、「含有せず」と判定する。

X線回折定量分析

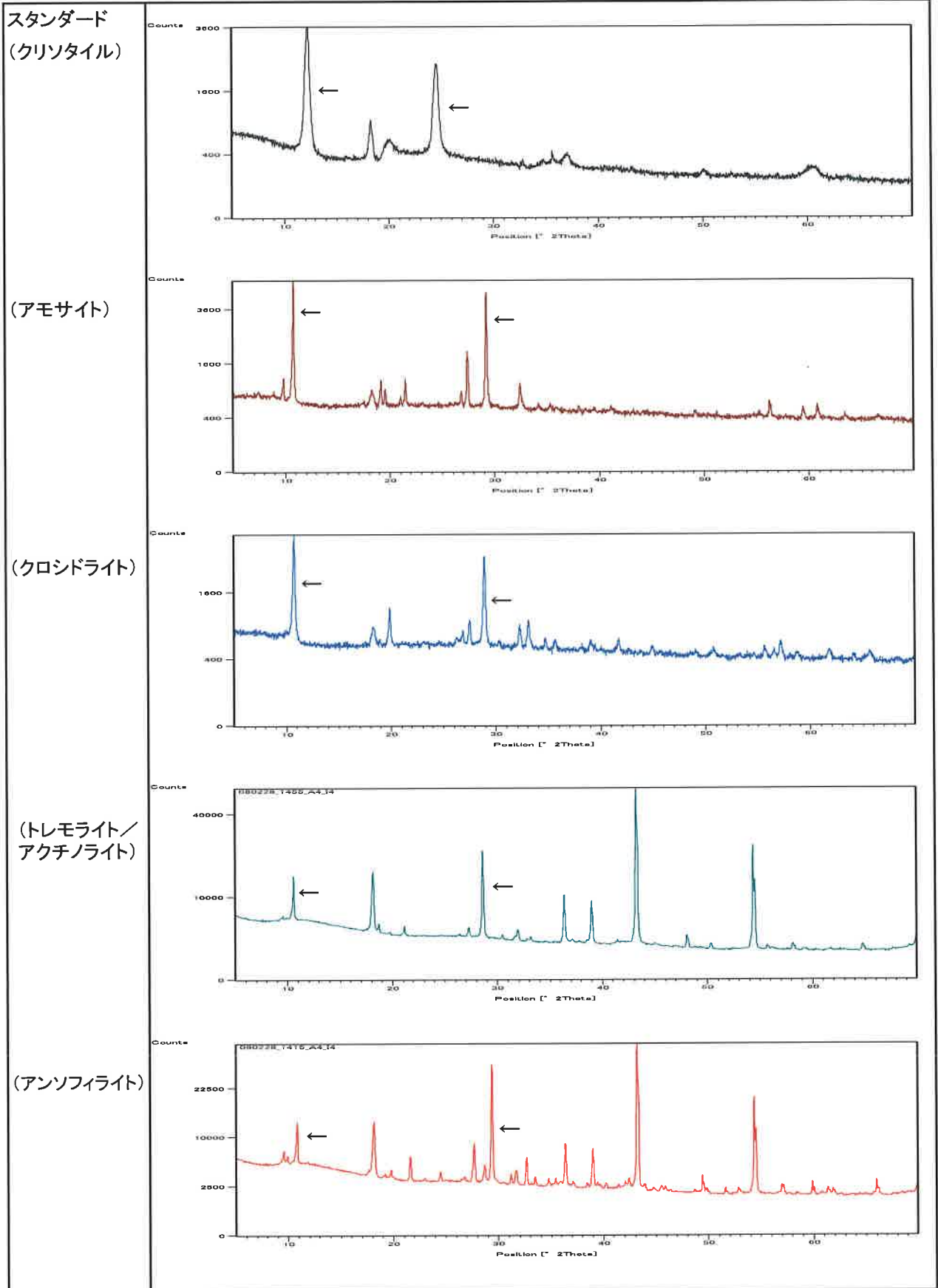
アスベスト種類	含有率(%)				試料の 残渣率	アスベストの 含有率(%)
	標本 1	標本 2	標本 3	平均		
クリソタイル	1.96	2.99	2.14	2.4	0.39	12.6
アモサイト	8.56	11.78	10.35	10.2		
クロシドライト	—	—	—	—		
トレモライト/アクチノライト	—	—	—	—		
アンソフィライト	—	—	—	—		

備考 1. 各項目欄の「—」は、定量分析を実施していないことを表す。
 2. 試料の残渣率は、二次分析試料における残渣率である。
 3. 一次分析試料の加熱処理を実施した場合は、減量率(r)で補正した定量値を表す。
 4. 含有率は、残渣率が0.15以下の場合は二次分析試料での定量値を、残渣率が0.15を超える場合は三次分析試料での定量値を表す。

顕微鏡定性分析(位相差顕微鏡による分散染色法) 顕微鏡写真: ニコン顕微鏡 ECLIPSE 80i

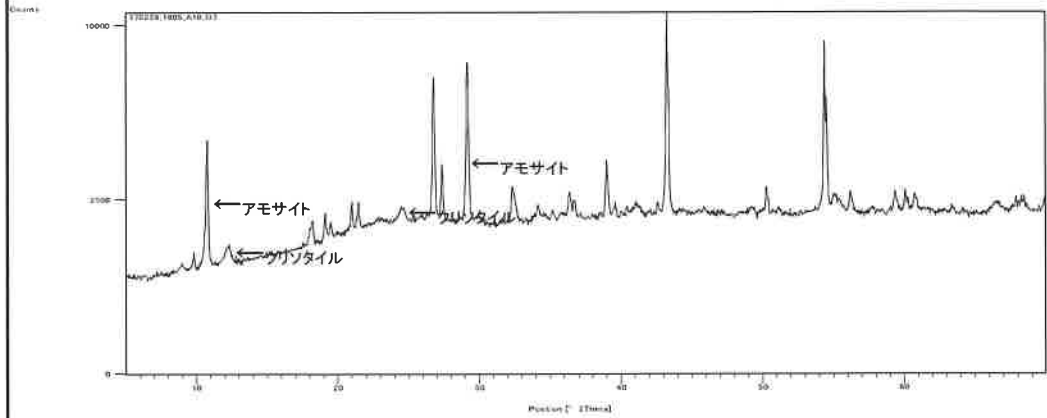
アスベスト	屈折率 (分散色)	スタンダード	倍率(100倍)	試料	倍率(100倍)
クリソタイル (白石綿)	1.550 (赤紫~青)				
アモサイト (茶石綿)	1.680 (桃)				
クロシドライト	1.690 (桃)				
アンソフィライト	1.618 (赤紫)				
トレモライト/ア クチノライト	1.620 (赤紫)				

X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

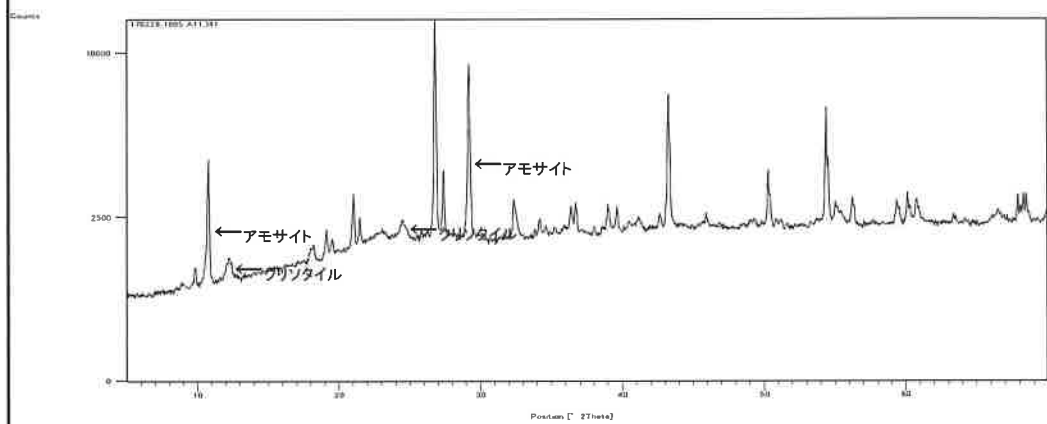


X線回折定性分析 X線回折パターン: PANalytical X'Pert PRO MPD

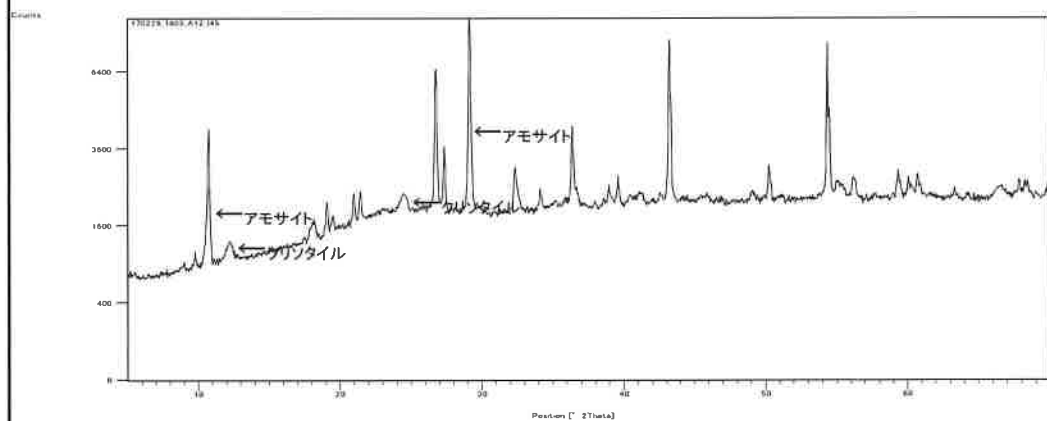
試料
(標本 1)



(標本 2)



(標本 3)





試料採取状況(遠景)

試料名
天井材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 天井

採取日

平成29年2月10日



試料採取状況(近景)

試料名
天井材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 天井

採取日

平成29年2月10日



試料(検体)

試料名
天井材

採取場所

後口谷畜産団地
厩舎 天井

採取日

平成29年2月10日

試験結果報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



株式会社 日本総合科学

広島県福山市箕島町南丘399番地46

電話 (084) 981-0181 (代表)

計量証明事業所 広島県登録第K-61号

採取年月日	平成29年2月10日	報告書番号	16HZ404946R
採取時刻	11:20	発行年月日	平成29年2月23日
試料名	焼却残渣	採取者名	高松 和広
採取場所	後口谷畜産団地 焼却炉	採取方法	平成16年 環境省告示第80号

上記試料についての試験結果を次のとおり報告します。

試験対象	実測濃度 (ng/g)	試料における 定量下限値 (ng/g)	試料における 検出下限値 (ng/g)	毒性等量 (ng-TEQ/g)
ダイオキシン類 (ばいじん及び燃え殻)	0.049	0.0078	0.0039	0.016

[備考]

- 試験方法は、レポータージーンアッセイ法（平成17年環境省告示第92号第1の1）に従った。
- 毒性等量への換算は、予め多検体のHRGC/HRMS法によって測定された試料について本生物検定法による測定を行い、両法における相関関係を求めその回帰式の傾きを換算係数として、次式により実測濃度から毒性等量を算出した。
$$\text{毒性等量} = \text{実測濃度} \times \text{換算係数} \quad [\text{換算係数(ばいじん及び燃え殻)} : 0.318]$$
- 実測濃度の項において、括弧付きの数値は検出下限以上定量下限値未満の濃度であることを示す。
- 実測濃度の項において、“ND”は検出下限値未満の濃度であることを示す。
- 毒性等量の項において、“零”は定量下限値未満であることを示す。
- 本測定方法は、JIS K 0463(2009)「アリル炭化水素受容体結合レポーター遺伝子アッセイ通則—ダイオキシン類のAhRアッセイ(平成21年3月20日制定)」に従っている。
- 業務名：後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務

検査報告書

北栄町長 松本 昭夫 様



株式会社

日本総合科学

広島県福山市美鳥町南丘899番地46

電話 (084) 981-0181(代表)

計量証明事業所 広島県登録第K-61号

採取年月日	平成 29年2月10日	受付番号	16HZ404947R
採取時刻	11:20	受付年月日	平成 29年2月10日
試料名	焼却残渣	採取者名	高松 和広
採取場所	後口谷畜産団地 焼却炉	その他	—

上記試料についての検査結果は下記の通りです。

検査項目	検査結果		定量下限値	検査方法
水銀又はその化合物	ND	mg/L	0.0005	昭和46年環告59号付表1
カドミウム又はその化合物	ND	mg/L	0.001	JIS K 0102 55.3 (2008)
鉛又はその化合物	0.005	mg/L		JIS K 0102 54.3 (2008)
六価クロム化合物	ND	mg/L	0.02	JIS K 0102 65.2.4 (2008)
砒素又はその化合物	ND	mg/L	0.005	JIS K 0102 61.2 (2008)
シアン化合物	ND	mg/L	0.1	JIS K 0102 38.1.2及び38.3 (2008)
セレン又はその化合物	ND	mg/L	0.002	JIS K 0102 67.2 (2008)
ふっ素及びその化合物	ND	mg/L	0.1	JIS K 0102 34.1 (2008)
ほう素及びその化合物	0.04	mg/L		JIS K 0102 47.3 (2016)
	以下余白			
備考	NDとは定量下限値未満のことをいう。 溶出試験：検液作成は、産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法（昭和48年環告13号、最終改正平成27年12月環告145号）に基づく。 業務名：後口谷畜産団地アスベスト及びダイオキシン類等分析業務			
	分析責任者 高橋 弘幸			



試料採取状況(遠景)

試料名
焼却残渣

採取場所

後口谷畜産団地
焼却炉

採取日

平成29年2月10日



試料採取状況(近景)

試料名
焼却残渣

採取場所

後口谷畜産団地
焼却炉

採取日

平成29年2月10日



試料(検体)

試料名
焼却残渣

採取場所

後口谷畜産団地
焼却炉

採取日

平成29年2月10日